

©ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは [www.raptokyo.co.jp](http://www.raptokyo.co.jp) から

## 「それ、本物？」

先日、お客様よりメールが受信できなくなった、と連絡があり、訪問してきました。メールアドレスは当社で管理しているものではなく、大手プロバイダーのメールアドレスでした。状況を聞いてみると、大量のメールを受信し、それからおかしくなったとのこと。おそらく、メールのパスワードを奪取されたものと思われます。そして、そのメールアドレスを使って、サーバから大量にメールが送信され、プロバイダーが強制的にパスワードを変更したことで使用できなくなったようでした。幸い、手続きマニュアルが手元にあったため、どうにか復活することができました。

迷惑メールを送信することを目的にしている誰かが、送信可能なサーバ（アカウント）をすごい勢いで探しています。パスワードを奪取されると、自分のメールアドレスから、あつという間に数万件のメールが送信されます。メールの配信経路は郵便と同じように、送信者（ポスト投函）、地域郵便局A（メールサーバA）、地域郵便局B（メールサーバB）、宛先者（宛先者のメールサーバ）のような経路で届きます。メールアドレスが実在していれば迷惑メールとして到達します。しかし、迷惑メールを送信するプログラムは、適当な文字列の組み合わせで送信します。そのため、数千通単位のメールが宛先不明で戻ってくるようになります。結果、メールサーバがパンクしたり、そのサーバ自体が迷惑メールの発信元とみなされてしまいます。そうすると、ネット上の

メール中継サーバが問題のあるサーバとみなし、メールを使うことができませぬ。それでは困るので、今度は解除申請をするのですが、場合によっては解除まで数日かかることがあります。私たちができる防止策は？ まずは、メールアドレスのパスワードを複雑にすることです。また、パソコンがウイルスに感染しないように最新のウイルス対策ソフトを導入し、こまめにアップデートを行うなどが重要かと思えます。

ちなみに私の普段使っているメールアドレス宛に届く迷惑メールらしきものは8月だけで2000通超でした。多くは銀行や通販会社からなどで、内容は、クレジットカード番号を盗み取るフィッシングです。中には、本物のメールではないかと思うものもあります。メールに記載されているURLからログインすることは避けた方がいいと思います。

迷惑メールの送信元になっても、そのアカウントを持つ人が悪いわけではありません。また、充分に対策をしても被害にあうことは多々あります。本当に悪い人たちがそのような行為は馬鹿らしく思えるような仕組みが、早くできれば良いと強く思います。

ボタンひとつで一瞬のうちに変化をもたらすことができる便利な時代。一方で、様々なトラブルが身近になっていきます。ある部分は不便のまま使うというものも、そのようなことを避ける方法なのかもしれませんね。

### 迷惑メールの タイトルで多い例

荷物の再配達  
(クロネコメンバーズ)

三井住友銀行アカウントの異常

Amazon ログインできません

ETC 解約予告

イオンカード不正利用

あなたのアカウントが制限されています

他にもたくさん！  
みんな、要注意です

